

2020年度決算報告について (第3号議案補足資料)

電力広域的運営推進機関

1. 2020年度決算の概要

1

- 収入の実績額は、129億円となり、予算額に対し、6億円の増となった。
- 支出の実績額は、91億円となり、予算額に対し、30億円の減となった。

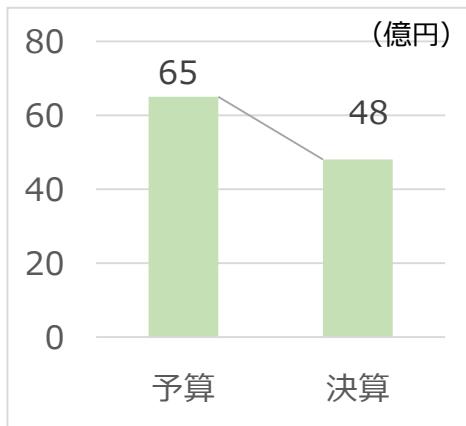
		2020年度予算額 (A)	2020年度実績額 (B)	(B) – (A)
収入	会費収入	105	105	0
	その他	–	0	0
	前年度よりの繰越金	16	23	6
	合計	122	129	6
支出	人件費	19	16	△2
	固定資産関係費	65	48	△17
	運営費	30	25	△4
	その他	6	0	△6
	合計	122	91	△30

(注) 計数は、単位未満切捨てたため合計と一致しない場合がある。

(注) <–>の表記は、計算上ゼロあるいは該当数字なしを示し、<0>の表記は、単位未満を切り捨てた場合のゼロを示す。

固定資産関係費

＜主な支出内訳＞



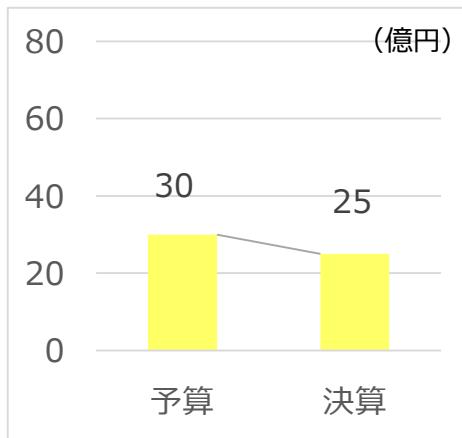
- 広域機関システムリース費用 (24.5億円)
- 容量市場システムリース費用 (4.0億円)
- OAシステムリプレース費用 (5.2億円)
今後の安定稼働に向けたOAシステムのリプレース
- 広域機関システム開発費 <制度改革対応> (7.8億円)
電力制度の各種改革にむけたシステム開発 (ex. 間接送電権対応)

＜主な予実差異要因＞

- 広域機関システム開発費 <拡張性確保> (4.5億円減)
予防保全 (ストレージの保守期限切れ) について、開発時期を最適化することにより削減
- OAシステムリプレース費用 (1.8億円減)
入札の競争効果による、調達金額の削減
- 容量市場システム (一次開発) の設計開発 (1.6億円減)
制度変更による機能追加の必要性を精査した結果、業務運営で対応することとし、実施を見送り
- 容量市場システム開発 (二次開発) に係るシステム化計画・RFP作成支援 (1.7億円減)
システム化計画とRFP作成作業の外部委託見送り

運営費

＜主な支出内訳＞



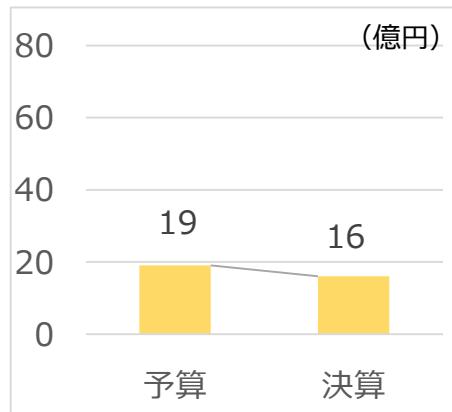
- 広域機関システム関連費用（10.2億円）
システム運用保守費（委託費）8.6億円
- 容量市場関連費用（7.1億円）
容量市場開設に向けた準備支援費用（委託費）4.1億円
システム運用保守費（委託費）1.6億円
- その他システム関連費用（2.5億円）
広域機関・容量市場システム以外のシステム（例：OAシステム）の
保守・維持費。
- 豊洲事務所・データセンター賃借料（3.4億円）

＜主な予実差異要因＞

- 広域機関システム運用保守（1.1億円減）
システム監視移行業務の内容見直しおよびインシデント対応工数の精査
による費用削減
- 調査委託費（0.7億円減）
新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえた予算執行の抑制

2. 各科目の主な支出内訳および予実差異要因について ③

人件費



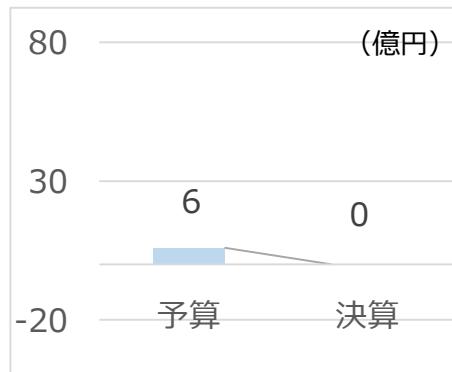
<主な支出内訳>

- 役職員給与 (14.3億円)
- 法定厚生費 (2.6億円)

<主な予実差異要因>

- 職員給与 (1.8億円減)

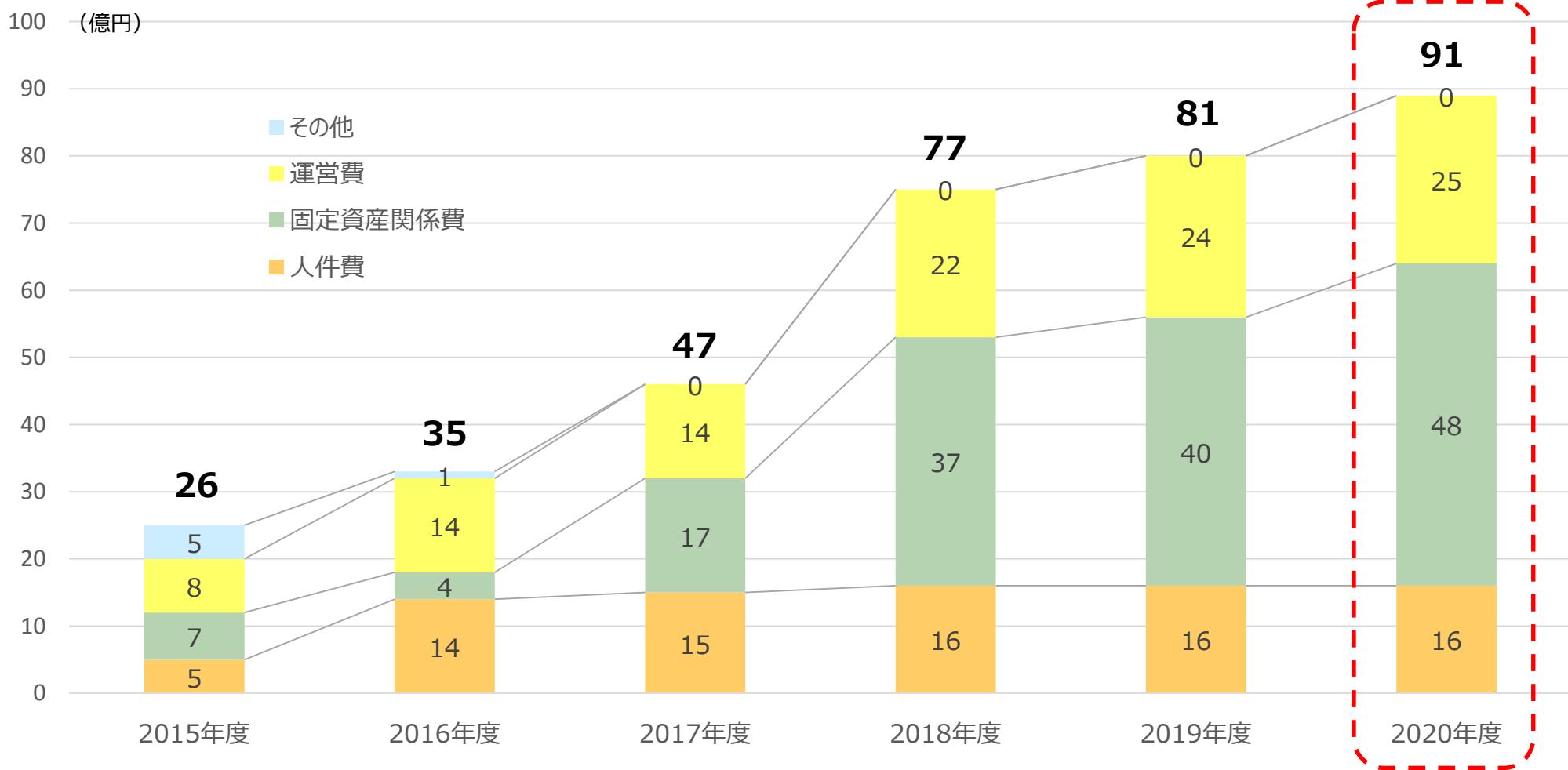
その他



<主な予実差異要因>

- 予備費 (5.8億円減)
予備費の支出なしのため

3. 創立時からの支出実績額の推移

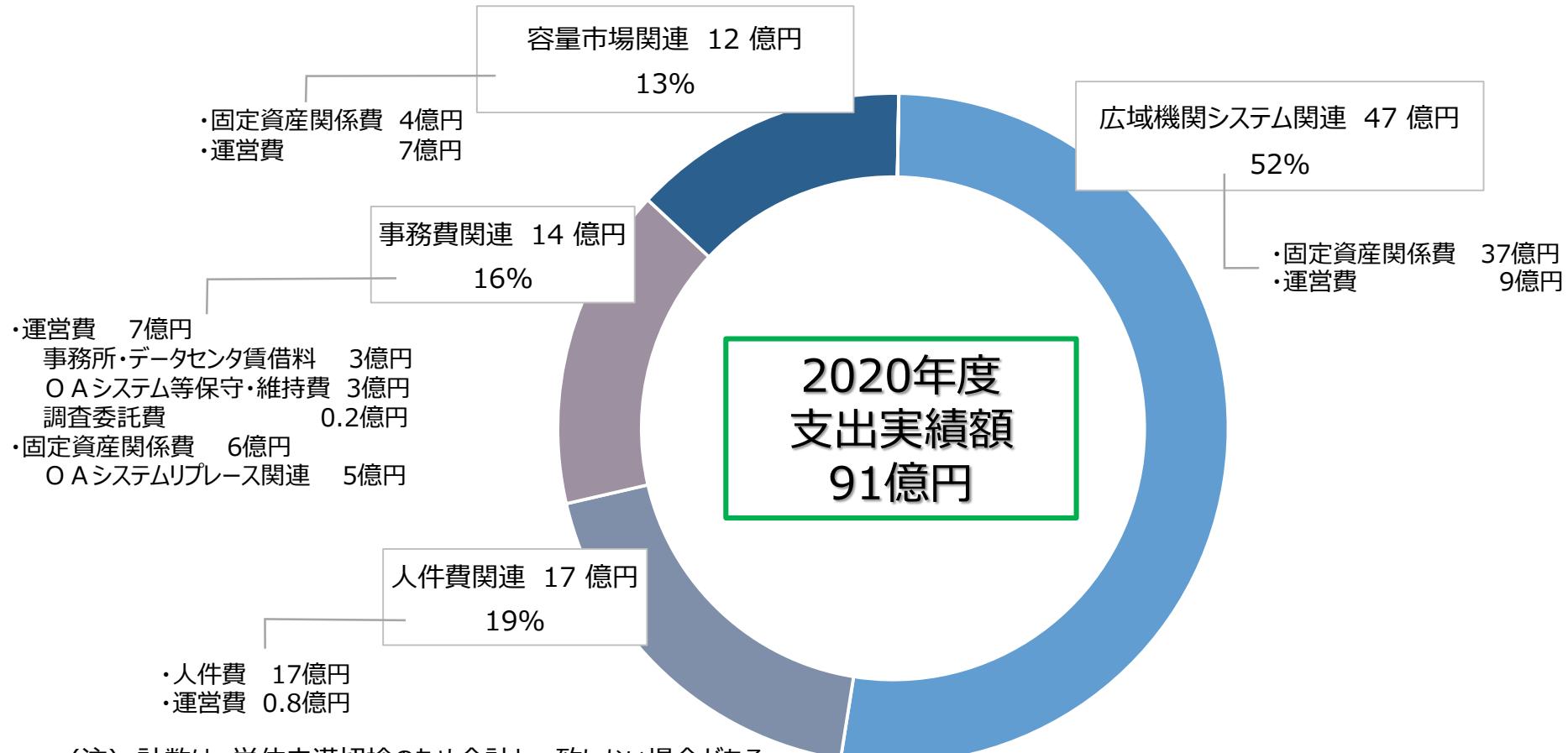


参考：業務分類別支出実績額

6

■ 業務分類別※の支出実績額は、以下のとおりである。

※ 個別案件を業務区分に分類した上で集計したものであり、勘定科目別分類とは異なる。



(注) 計数は、単位未満切捨てのため合計と一致しない場合がある。

(注) < - > の表記は、計算上ゼロあるいは該当数字なしを示し、< 0 > の表記は、単位未満を切り捨てた場合のゼロを示す。